

2022年5月18日開催

2021年度 決算/中計説明会 質疑応答(要約)

Q. 原材料や物流費高騰の前期影響額と、今期の見通しについて

A. 前期の原料高の影響はほぼ 42 億円。海外の物流費高騰を含めるとさらに拡大し 48 億円。このうちカバーできたのは今のところ国内で 4 割弱。海外では、国内よりは進んでいるが物流費を含めた全体はまだカバーできていないという状況。

今期の見通しは、原料高の影響はさらに拡大して 70 億円。カバーできるのは 7 割程度の計画。

Q. バイオマスプラスチックの競合は

A. 当社はバイオマスプラスチックそのものを作っているわけではなく、バイオマスプラスチックを作っている会社に改良剤を納めている。よって、バイオマスプラスチックを使っている会社はお客様にあたる。

改良剤としての競合は、国内では今のところ当社が先行しており、競合はあまりない。

Q. 海外化成品はアジア向けが伸びているが、足元のコロナ影響で営業活動は止まっていないのか

A. 中国の現地化粧品メーカーおよび中国・東南アジアの農業用フィルムなどを中心に、海外化成品用改良剤のアジア向け売上が拡大しているが、現在、上海のロックダウンにより中国国内の営業活動が十分にできていない状況である。既存の販売商品の物流・供給体制の整備に注力している。

以上